

平成25年度事業報告

I 事業実施概要

本会は、健康でたくましい県民の育成を図るため、県民総スポーツならびに競技力向上を目指して積極的に諸事業を実施した。

特に、2018年に開催が予定されている「福井しあわせ元気国体」に向けて、競技力向上対策に積極的に取り組み、その結果として、東京国体では前年同様の天皇杯24位となった。目標としていた10位台の確保はできなかったが、過去最高点を獲得するなど競技力向上が確実に進んできている。

また、平成25年8月の評議員会および理事会において、西川福井県知事が新会長として就任され、「福井しあわせ元気国体」開催に向けて新たな体制となった。

II 事業内容

1 競技会開催事業

県民スポーツ祭開催事業 【附属明細書 1参照】

大会名	開催地	大会期日	参加者総数
13県民スポーツ祭	県下一円	平成25年6月～平成26年2月 総合開会式：平成25年7月13日	35,104名

2 関係団体育成事業

	事業名	内容
①	社会体育振興事業	本会加盟の17市町体育協会・48競技団体が県下各地域、各競技・種目毎に行うスポーツ普及振興事業に対して助成を行った。
②	スポーツ少年団育成事業	県スポーツ少年大会の開催をはじめ、指導者の養成と資質向上ならびに母集団の組織整備等を推進するため、スポーツ少年団に対し助成を行った。 平成25年度登録 単位団526団（団員：11,148名 指導者：2,624名）
③	総合型地域スポーツクラブ育成推進事業	クラブ育成アドバイザーを配置し、総合型地域スポーツクラブ（以下「総合型クラブ」という。）の創設・育成を推進しながら、総合型クラブの活性化を図るため、クラブ間で各種の情報提供等を行った。 設立クラブ数 設立24クラブ 設立準備2クラブ【資料1参照】
④	指導者協議会育成事業	福井県スポーツ指導者協議会の育成・強化および日本体育協会公認スポーツ指導者の資質向上・活動促進を図るため、福井県スポーツ指導者協議会に対し助成を行った。 スポーツ指導者協議会（会員数：1,766名）

3 スポーツ指導者育成事業

	事業名	内容
①	指導者養成講習会事業	<p>日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づき、指導者の公認資格取得をすすめ、県内各地のスポーツ指導現場で活躍できる指導者を養成した。</p> <p>指導員養成講習会 3競技団体（参加者：52名）</p> <p>(1) ハンドボール 10月27日～1月19日の6日間 14名</p> <p>(2) ボウリング 9月21日～12月15日の4日間 22名</p> <p>(3) ソフトテニス 12月7日～1月19日の6日間 16名</p>
②	指導者研修会事業	<p>県内における日本体育協会公認スポーツ指導者のさらなる資質向上と活動促進および指導者の連帯感を深めるために、スポーツ指導者研修会を開催した。</p> <p>平成26年2月23日（日） ユーアイふくい（参加者：303名）</p>

4 競技力向上事業

「福井県競技力向上基本計画」に基づき、積極的かつ効果的な事業展開を図った。

	事業名	内容
①	競技力向上対策事業	<p>(1) 国民体育大会、各種全国大会に向け競技力の向上対策を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国体強化対策事業 41競技 ・プレ強化事業 16競技（538点） ・優秀指導者配置支援事業（配置競技：ホッケー競技） <p>(2) ジュニア選手の育成強化（一環指導） 40競技</p> <p>(3) 平成30年福井国体に向けた指導者育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日体協公認上級資格の取得推進 <p>受講者：6団体 6名</p>
②	積善会少年スポーツ振興事業	<p>ジュニア選手の発掘・育成と競技力向上対策を行った。</p> <p>(1) ジュニア教室開催</p> <p>(2) リープ指導者支援（資質高度化）事業（競技数：11団体21名）</p> <p>(3) ジュニアアスリートサポート事業（競技数：2団体11名）</p> <p>(4) ジュニア選手競技力向上事業（競技数：4団体）</p>
③	関係会議等開催事業	<p>(1) 入賞対策会議 平成25年5月23日（木） 織協ビル（参加者：121名）</p> <p>(2) 国体結果検討会 平成25年10月19日（土） 県教育センター（参加者：107名）</p> <p>(3) 競技団体個別ヒアリング（41競技団体） 平成25年11月5日～平成25年11月25日</p> <p>(4) 競技団体理事長会議 平成26年3月7日（金） 県営体育館研修室（参加者：55名）</p>

5 スポーツ医・科学関係事業

	事業名	内容
①	医・科学活用推進事業	<p>国体候補選手を対象に、スポーツ医・科学の研究成果を取り入れた計画的な練習やトレーニングの導入、栄養管理、傷害予防、メンタルトレーニング、リハビリ等の医・科学サポートの実践を通して競技力向上を図った。</p> <p>(1) メディカルチェック・フィットネスチェック アンケート：配付 1,996 名 回収 1,086 名 (54.4%) 2次健診：対象者 238 名 受信者 22 競技 103 名 (43.3%)</p> <p>(2) 国民体育大会帯同サポート 北信越国体 (2名)、本国体 (4名)、冬季国体 (3名)</p> <p>(3) 第2回福井県スポーツ医科学研究大会 平成 25 年 11 月 17 日 (日) 福井医療短期大学 157 名参加</p>
②	研修会等開催事業	<p>国体選手を中心にドーピング防止教育・啓発活動を実施し、薬物乱用・誤用の認識を高めることにより競技者の健康被害を防ぎ、健全なスポーツ活動の普及啓発を図った。</p> <p>(1) ドーピング防止講習会 実施状況：5回 約400名</p> <p>(2) ドーピング防止ガイドブック配布 配布数：900部</p>

6 広報・情報提供事業

	事業名	内容
①	広報普及活動事業	<p>国際大会や国民体育大会等における本県選手の活躍、事業および加盟団体の活動内容、各種表彰等の広報を行った</p> <p>(1) 体協ニュース 1,500部 (2) 体協だより 800部</p>
②	スポーツ情報公開事業	<p>公式ホームページにより各種情報を公表した。</p> <p>(1) 組織、事業概要等 (2) 国体等のタイムリーな結果報告</p>

7 国際交流事業（日中・日韓スポーツ交流事業）

日韓交流

区分	事業名	期間	交流団体派遣先等	派遣・参加人数
派遣	日韓スキー交流事業	8月7日～8月12日	富川市	選手12名 指導者等2名

8 国体等派遣事業

①国体派遣事業 【附属明細書 2参照】

大会名	会期	開催地	選手団
第68回 国民体育大会	平成25年9月28日～10月8日 〈会期前実施〉水泳、ボート他 平成25年9月11日～15日	東京都	437名
第69回 国民体育大会冬季大会 スケート競技会	平成26年1月28日～2月2日	栃木県	50名
第69回 国民体育大会冬季大会 スキー競技会	平成26年2月21日～24日	山形県	

②北信越国体派遣事業 【附属明細書 3参照】

大会名	会期	開催地	選手団
第34回 北信越国民体育大会	〈中心会期〉 平成25年8月23日～25日 〈会期前実施〉カヌー、ボート他 平成25年5月12日～	新潟県 カヌーSP 富山県	福井県 684名 新潟県 678名 長野県 682名 富山県 699名 石川県 699名

9 表彰事業 【附属明細書 4参照】

本県のスポーツ振興に著しく貢献したものを表彰した。

	表彰名	対象者	人数
①	体育功労者賞	本会または加盟団体の発展のために長年尽力し、功績が顕著な個人	24名
②	優秀選手賞	福井県民または本会加盟団体登録者および県内高等学校出身の大学生であり、全国大会ならびに国際大会で優秀な成績を収めた者	109名
③	優秀指導者賞	前項2の優秀選手を育成した指導者	6名
④	国民体育大会賞	その年度の国体で天皇杯および皇后杯得点に貢献した競技団体、監督、選手	団体 8団体 個人 87名

10 その他

①全国大会ならびに各種ブロック大会の後援 【附属明細書 5参照】

②安全管理の強化の取り組み

- ・国民体育大会参加者傷害補償制度への加入促進
- ・加盟団体の賠償責任保険への加入促進
- ・スポーツ安全保険への加入促進

(26年1月まで)

区分	団体員数	Web加入数	対象団体
A・AW	18,415	11,575	中学生以下の子ども
AC	2,521	1,077	A・AW区分の子どもの指導・支援として共に活動を行う大人
A2	3,021	1,156	高校生以上の文化活動団体
B	3,031	133	老人などのクラブ
C	12,639	5,381	高校生以上のスポーツ活動団体
D	0	0	危険度の高いスポーツ活動団体
合計	39,627	19,322	